【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第３区分
【発行日】平成17年8月18日(2005.8.18)

【公開番号】特開2003-226726(P2003-226726A)
【公開日】平成15年8月12日(2003.8.12)
【出願番号】特願2002-29679(P2002-29679)
【国際特許分類第７版】
　Ｃ０８Ｆ 299/00
　Ｂ２９Ｃ　45/14
　Ｂ３２Ｂ　27/30
　Ｃ０８Ｇ　59/20
　Ｃ０８Ｊ　 7/04
　Ｃ０８Ｋ　 3/22
　Ｃ０８Ｌ 101/02
　Ｃ０９Ｄ　 5/00
　Ｃ０９Ｄ 163/00
　Ｃ０９Ｄ 201/02
　Ｃ０９Ｊ　 7/02
// Ｂ２９Ｌ　 9:00
【ＦＩ】
　Ｃ０８Ｆ 299/00
　Ｂ２９Ｃ　45/14
　Ｂ３２Ｂ　27/30　　Ａ
　Ｃ０８Ｇ　59/20
　Ｃ０８Ｊ　 7/04　　ＣＥＹＫ
　Ｃ０８Ｋ　 3/22
　Ｃ０８Ｌ 101/02
　Ｃ０９Ｄ　 5/00　　Ｚ
　Ｃ０９Ｄ 163/00
　Ｃ０９Ｄ 201/02
　Ｃ０９Ｊ　 7/02　　Ｚ
　Ｂ２９Ｌ　 9:00

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月31日(2005.1.31)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　側鎖に光重合性官能基を有する熱可塑性樹脂（ａ－１）および光重合開始剤（ａ－２）を含み、（ａ－１）以外の架橋性化合物を実質的に含まない光硬化性樹脂組成物（Ａ）および溶剤（Ｓ）を含み、光硬化性樹脂組成物（Ａ）／溶剤（Ｓ）の質量比が、２５／７５～７０／３０（合計１００質量部）の範囲にある、光硬化性キャスト液組成物。
【請求項２】
　光硬化性樹脂組成物（Ａ）が、さらに無機微粒子（ａ－３）を含む、請求項１に記載の組成物。

【請求項３】
請求項１～２のいずれかに記載した光硬化性キャスト液組成物を基材シート（Ｂ）上に塗工する工程および塗工後の基材シート（Ｂ）を加熱して溶剤（Ｓ）を揮発させる工程を含む、光硬化性樹脂組成物（Ａ）の層と基材シート（Ｂ）とを含む光硬化性シートの製造方法。
【請求項４】
請求項３に記載した方法により製造した光硬化性シート。
【請求項５】
請求項４に記載した光硬化性シートの基材シート側に形成された印刷層および／または蒸着層を含む光硬化性加飾シート。
【請求項６】
請求項４に記載した光硬化性シートの基材シート側に形成された印刷層および／または蒸着層、および接着層を含む光硬化性インサート成形用シート。
【請求項７】
請求項４に記載した光硬化性シートの基材シート側に形成された印刷層および／または蒸着層、および接着層およびプライマーシートを含む光硬化性インサート成形用シート。
【請求項８】
請求項４～７のいずれかに記載した光硬化性シート、光硬化性加飾シートまたは光硬化性インサート成形用シートを、光硬化性樹脂組成物（Ａ）側が金型の内壁面に向かい合うように挿入配置する工程、金型を閉じて、溶融樹脂を金型内に射出し、樹脂を固化させることにより光硬化性シート、光硬化性加飾シートまたは光硬化性インサート成形用シートが表面に配置された樹脂成形品を形成する工程、および光照射することにより成形品表面の光硬化性樹脂組成物を光硬化させる工程を含むインサート成形品の製造方法。
【請求項９】
請求項４～７のいずれかに記載した光硬化性シート、光硬化性加飾シートまたは光硬化性インサート成形用シートを、光硬化性樹脂組成物（Ａ）側が金型の内壁面に向かい合うように挿入配置する工程、光硬化性シート、光硬化性加飾シートまたは光硬化性インサート成形用シートを予備成形してシートを金型形状に追従させる工程、金型を閉じて、溶融樹脂を金型内に射出し、樹脂を固化させることにより光硬化性シート、光硬化性加飾シートまたは光硬化性インサート成形用シートが表面に配置された樹脂成形品を形成する工程、および光照射することにより成形品表面の光硬化性樹脂組成物を光硬化させる工程を含むインサート成形品の製造方法。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１５
【補正方法】削除
【補正の内容】